

第 57 回 「事業継続推進機構 (BCAO) 仙台地域勉強会」

1. 日 時 : 2022 年 5 月 13 日 (金) 17 時から 18 時 30 分まで
2. 場 所 : ZOOM
3. 参加者 : 16 名

議題 : 「仙台長町未来共創センター (防災ビル) の竣工と今後の活用」

発表 : フクダ・アンド・パートナーズ 加藤祐さん、阿部真美さん

丸和運輸機関 山田琢磨さん、栗原裕之さん

東北大学災害科学国際研究所 丸谷 浩明

○質疑応答 (Q : 質問 A : 回答 C : コメント)

Q, 仙台長町未来共創センター (防災ビル) のセミナールームは、避難してきた帰宅困難者を受け入れる場所がないという事態は発生しないのか。

A, セミナールームには、帰宅困難者の方をまず優先して受け入れる。

C, 防災ビルの周辺は浸水するエリアなので、周りの人が駆けつけてきた場合にも同様に受け入れた方が良く思っている。

Q, 非常用発電機の置き場を 2 メートルかさ上げして建設されたとの説明があったが、これは地震・水害・津波のどれを想定したものか。

A, 水害を想定したもの。当地域は、河川の合流地域に近いということで、ハザードマップ上では最大 1~2 メートルの浸水が見込まれているためである。津波に関しては、宮城県が見直しを行ったが問題なさそうである。

Q, 災害時の医療設備・医療対応についてはどうなっているか。

A, 近隣の医師と連携し、仙台市医師会との連携を考えている。また、2 キロ圏内にある仙台市立病院とも連携ができればと考えている。

Q, ぽぽ紙トイレが非常に興味深い。価格はいくらか。また、常に提供してもらえるものなのか。

A, 「ほぼ紙トイレ」は、河原技研という埼玉の企業の製品。見積りのチラシもお渡しできる。
また、河原技研さんのホームページ上にあるリンクよりご覧いただける。

C, 地元の開業医の先生と連携して訓練を積んでおくことが重要であると考えている。仙台市がこの枠組みに入っている中で、仙台市立病院とコンタクトをとるのも良いことだと思う。
設備・用具などは、具体的にそれが使えるのか、訓練を通してやってみる必要があると思う。
子供を預かる施設については、真っ先に帰宅困難になるのは子供たちや母親であろう。